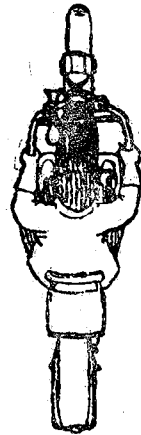


# 通信

## 東京だより

田中生

肅啓、花は既に去り陽春の氣分漲り申候、兎角の批評を受けたる新東京の復興計畫も、災後六ヶ月を経過し漸く確定の運に立至り候は、遲蒔とは言へ慶賀の至に不堪候、併しながら前號に御報導申上候通り、其の計畫は各種の會議に於て著しく修正せられ候結果、不合理なる計畫のもとに實行さるべき次第にして遺憾の至に有之、這般の如き災禍を防止するが爲には、あらゆる犠牲を拂ふも厭ふ所にあらずとは、災後一二月月間市民の一般が抱懐したる覺悟に過ぎずして、今日に於ては早や其の覺悟を忘れ、土地區劃整理施行延期の運動を爲すものを生じ、咽元迎れば熱さを忘るゝの淺はかき實に慨嘆の外無之候、復興計畫に於て最も主なるものは、矢張り道路の新築改築事業にして、此種事業の爲に大正十二年度以降



六ヶ年内に二億五千七百四十五萬八千四百圓を投じ、燒失區域内に於ける幹線道路五十三線、延長二十九里三十二町を、路幅二十二メートル乃至四十四メートルに改造するの外幹線道路に於ける交通を補助すべき道路百二十二線、延長三十五里十四町を路幅十一メートル以上に改築するものにして之が實現の曉に於ては舊都災前のものに比し、聊か面目を改むることゝは存候得共、路幅三十三メートル以上の道路にあらざれば舗装せざる計畫にして其の他は單に踏み固められたる砂利道に過ぎず、帝都道路としては完全とは難申、其の他東京市を中心として放射する國道、府縣道及環狀線府縣道の改築は災前と同様東京府知事をして執行せしめ、之に對し復興局は補助する様申居候得共、その放射環狀道路は既に災前に於て著手したる箇所の部分のものに對し補助するに過ぎずし、之と相連絡して始めて放射環狀道路の作用を爲すべき他

の部分に對しては手を染むることなく、東京府の自營に放任したるは、滑稽の感有之候、此の如きは豫算削減の結果已むを得ざるに出でたるものなりと辯明致し居候得共、放射環狀道路の一小部分の改築は何等意義を爲さざるのみならず、是等道路に對しては災前に於ても内務省豫算を以て、全線を統一改築する計畫に對し、補助したるものなるに、之を強て復興事業と爲したるが爲内務省に於て爲優たる補助契約の解除を見るに至りたる如きは、帝都復興の爲に寔に遺憾とする所に有之候。

以上事業に充當すべき資金は、如何なる方法を以て捻出すべきかは、財界の重視を怠らざりし所に有之候處、是等の費用を支辨すべき所持金なき我國は之を他より借入るゝより外途無之、遂に本月十三日大藏省令第三號及同第四號を以て總額五億五千萬圓の外債を英米二國に於て募集することに致候、之に對しては世上批難の存する所に候得共、復興事業は獨り政府に於てのみ執行するものに無之、震災を受けたる各種公共團體に於ても多額の支出を要するのみならず、罹災地以外に於ける地方事業に對しても平時と同様に相當資源の供給を必要とするを以て内國公債の募集を見合せ外國債に依りたるは適當の財政計畫と申すべく、我國々當八百五十億圓よ

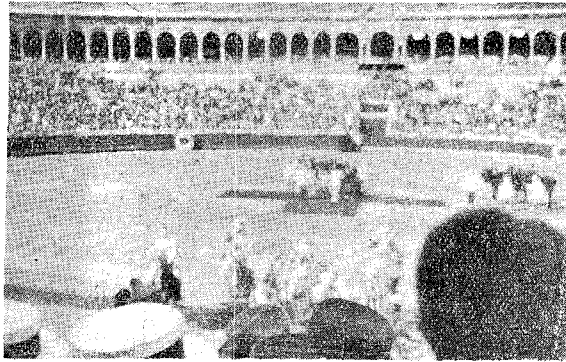
り罹災の爲失ひたる損失百億圓を控除したる殘國富七百五十億圓に對し、國債六十二億圓は僅か其の十二分一に當り決して多額の負債とは言ひ難く、英國が國富の五分一強、米國が十五分一、佛國及伊太利が各二分一強の國債を有するに比較せば必しも悲觀すべきものに無之と存候、或は今回の公債が利率六分と六分五厘なるに、起債條件と手取額の勘定よりして、利廻り八分となりて倫敦市場に於て疲弊國たる奧太利と同視せられたるは、財政當局者の無能の致す所なりと責むるもの有之候得共、此の如き高利を餘義なくせしめられたる原因の主たるものは我國の財政的信用が大震災の爲、低下したるに基因するものと被認、最近歸朝されたる本會幹事松本學氏の談によれば、彼地に於て、日本は震災の爲三等國に落伍したりとさへ唱ふるものある位にして、震災に因る被害程度が彼地國民に克く徹底せざりしに因るものと被考、從つて今回の起債狀況を以て將來に於ける起債の不利を按ずるは聊か早計に非ざるかと存候、何れにするも募債濟の今日に於ては復興事業を積極的に且つ迅速に完成し、經濟の復興を圖り一日も早く此起債を償還することに致度ものと存候、唯だ外債の輸入に依つて空景氣を煽動し、一時の好況に酔ふが如きは帝國將來の爲に、國民の嚴に慎まざるべからざることを存候。

復興事業としての道路計畫は叙上の通に候共、燒失區域に於ける道路は、復興材料運搬の爲に、その利用甚敷遂に見る影もなき程度に破壊致し候爲、東京市當局も漸く之が改良に着眼し、従前計畫したる路面鋪裝事業を變更し、工事費千八百八十五萬圓を以て、

燒失區域外道路二萬七千坪を鋪裝することとし、道路評議會の諮問を経て市會に附議することに相成候、之に對しては國庫は固より補助すべき責任あるものにして、此の如き事業を復興計畫に編入せざりしことが間違と存候、近く着手すべき趣に付前記復興事業と合せ帝都は道路工事を以て全市を充すに至るべく路政の爲欣快に不堪候、

新内閣成立以來地方長官の更迭あるやを傳へられ候得共、その事なく定めし胸を撫でおろしたる閣下連も尠なからざりしこと、存候、定例に依り十二日より地方長官會議召集せられ、所謂新内閣の政綱が公的に發表せられ申候、

總理大臣は組閣の經過を説明し、所謂特權階級内閣なりとの世評に對し、立憲政治の運用として内閣は成るべく衆議院を



牛關の(七ピセアリ便參照)

基礎とし政黨に據るを便宜とするも之等は憲法の要求する所  
でなく、閣員の任命は大權に屬し、内閣の立憲的なりや否やは其の實行する政策に依りて判定すべきものなりと斷じ、衆議院は議場に於て毫も議事を進行する念なく、國政協贊の重任を竭すの誠意を缺き其の行動は終始國民の期待副にはざるものと認めたるを以て衆議院解散の已むなきに至りたる事情を説明し、行政及財政上の整理を圖り政費の節約を實行し、國民精神の作興を圖り、敬祖崇祖の美德を獎むると共に、官紀の振肅綱紀の肅正に勉むるの必要あることを訓へ、衆議院議員選舉權の擴張、國民教育の改善、經濟の振興に付政府の方針を明にし、その趣旨の國民一般に徹底せむことを望む所有之候是等は何れも國民の期待して已まざる所なるを以て、讀者諸君と共にその實行の一日も早からむことを希望する所に有之候今回は是にて擲筆致候 敬 具